

キャラクター名
キク・ホンダ

プレイヤー名

種族	エルフ	種族特徴	暗視、剣の加護/優しき水		
生まれ	射手	性別	男	年齢	秘匿事項です
冒険者Lv	15	経歴	大きな嘘をついている(いた)		
経験点	500		特定の異種族を好んでいる(いた)		
		大恋愛をしたことがある			

技	13	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	11	54		78	13
体	5	敏捷度	8			21	3
		筋力	4	27		36	6
心	8	生命力	9			14	2
		知力	6	19		33 + 2	5
		精神力	8	20		36	6

技能	Lv.	技能	Lv.
シューター	15		
セージ	12		
ミスティック	8		
アーティザン	15		

戦闘特技			
鋭い目	2120p	占瞳操作	IB30 p
弱点看破	2121p		p
マナセーブ	2123p		p
マナ耐性	3144p		p
魔器習熟A	AG43p		p
射手の体術	2-227p		p
自己占瞳	IB29 p		p
双占瞳	IB37 p		p
魔器習熟S	AG43p		p
代償軽減	IB30 p		p
魔器の達人	AG43p		p

言語	会話	読文
エルフ語	○	○
交易共通語	○	○
ドレイク語	○	
汎用蛮族語	○	○
魔神語	○	
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	
シャドウ語	○	
バジリスク語	○	
リカント語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	
幸運は勝ち戦を授ける	威力超増強/+10
星は剣を導く	C値超増強/-1
星は安らぎをもたらす	防護点超増強/+1
星は盾を掲げる	誤射防止
凶星の光を避ける道を知る	魔物知識増強/+2
賢星に語られるべかりし言葉を問う	威力極増強/+15
襲い掛かる敵の幻	魔物知識超増強/+2
怒れる言葉の幻	生死判定超増強/+3
背後から迫る闇の幻	防護点極増強/+1
威力増強/+5	回復増強/+1
C値増強/-1	
生死判定増強/+3	
防護点増強/+1	
回避増強/+1	

名誉アイテム	点数
名誉点所持	0 /合計 0

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	15	28	18	21

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	アカシックレザー		14		6
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					3
回避技能	シューター	合計値	18	9	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ウカノミタマ	2H	22		2d+	28	10	24	47										
AC:ウカノミタマ	2H	22		2d+	28	8	24	77										
AC内訳: 1+2+6+7+11				2d+														

一般装備品	(消耗チェック)
冒険者セット	○□□○□□
魔晶石10点x2	○□□○□□
ミスティックロッド	○□□○□□
ミスティックカード	○□□○□□
ミスティックオーブ	○□□○□□
秘密の封蝋	○□□○□□

北向きの針	○□□○□□
音運び	○□□○□□
メッセージルージュ	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
所持金	-182700 G
預金・借金	G

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	21 m	63 m	2d+	18	9
					59

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+	17	2d+	0	
		2d+	17	2d+
			21	36

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭 雨雲の帽子	アーティザンハット(3参照、最大AC3 内訳: 9+10+12(魔物知識判定+4))
耳	
顔	
首 神秘の雫	アーティザンネックレス(3参照、最大AC3 内訳: 3+13+19(生死判定+6、HP回復量+1))
背中	
右手 叡智の腕輪	
腰 えびら	矢/太矢類を24本収納
足 軽業のブーツ	転倒しなくなる
その他	

装備品	説明
左手	

その他メモ	自動失敗
神出鬼没な街の記者の青年。年若く子供のように見られがちだが、実際はとんでもなく長生きのお爺さん。歳の割には新しいものや機械的なものが大好きで、その延長線上なのがルーンフォークやメカメカしい銃器を見ると大はしゃぎする。特に銃器に関しては分解して中身を見たくてしまうので自製心で留めようとするものの、暴走すると高速詠唱ならぬ早口言葉で機械の素晴らしさを喋り出すことも。	チェック
	○□□□⑤
	○□□□⑩
	○□□□⑮
	○□□□⑳
	○□□□㉑
	○□□□㉒
	○□□□㉓
	○□□□㉔
	○□□□㉕

街で活躍する探偵アーサー・カークランド寄りの記事を書くことで有名。しかし、その実警察に雇われていることを黙っておりただの記者だと常に嘘を吐いている。ルーンフォークや機械が関わらなければ表情の乏しいことが功を奏して大きな嘘は見抜かれず、街の中にゆるりと溶け込んでいく様子。幼少期に恋人がいる人に恋をするという報われない恋をしてからはその手の話には少し臆病になってしまい、笑って誤魔化すことが多い。